

# 【 縁を育む、縁で支えるみえの子育て「みっふる広場」 】

## <取組の背景・目的>

- 三重県では、家庭教育の充実に向けた取組を推進するため、平成29年3月に「みえ家庭教育応援プラン」を策定した。
- 県内の多くの市町においては「家庭教育応援」の機運に乏しく、県が主導して市町と家庭教育支援チームの連携を推進しつつ「家庭教育応援」の機運の向上を行う必要がある。
- 新型コロナウイルスにより、子供も保護者も家庭にいる時間が長くなる傾向にあり、子供への接し方について不安や負担を感じている保護者が増える一方で、家族との交流を深める保護者もあり、保護者の家庭教育への関心を高める好機である。

## <取組内容>

### ◆「家庭教育応援Web講座」の開設

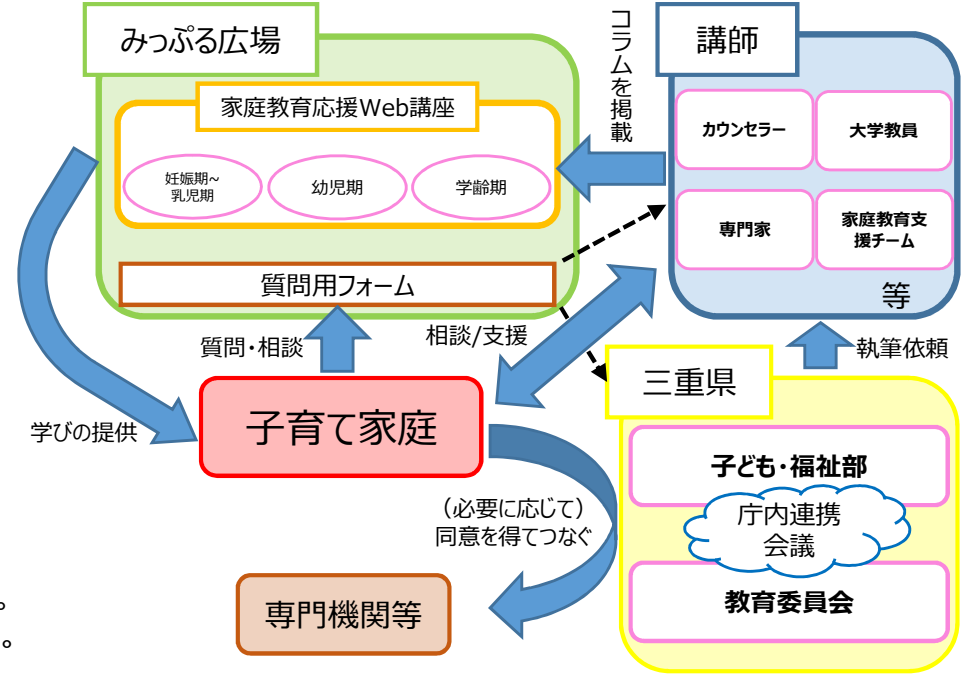
- 三重県の「家庭教育応援」のプラットフォームとしてのホームページ「みっふる広場」において、コラムを掲載。
- コラムは、「妊娠期から乳児期」、「幼児期」、「学齢期」の3つのカテゴリに分け、それぞれに応じた家庭教育支援チームや大学教員等、専門の講師が執筆。
- 講座に対する質問用のフォームを設定し、閲覧者からの質問を受け付けられるようにした。緊急性の高い質問については、適切な支援が受けられるよう、関係課や関係機関につなげる。

### ◆教育・福祉等の連携による協働体制づくり

- 教育委員会や子ども・福祉部の関係課で庁内連携会議を開催し、コロナ禍における子供と保護者のおかれた状況について情報共有し、「家庭教育応援Web講座」のテーマや講師の選定等を検討した。

### ◆地域人材との連携

- 県内各地の「家庭教育応援」に取り組んでいる支援者を、講師としてコラムの執筆を依頼した。コラムを通じて、地域の家庭と講師がつながり、支援のネットワークが拡大していくことを期待する。



## <取組の成果>

- 教育委員会と子ども・福祉部が、保護者や子供が置かれた状況を共有しながら、ホームページの運営、Web講座の講師の選定等について協議していく中で、連携を深めることができた。
- Web講座の講師が活動する地域を整理すると、講師が発掘できていない地域が見えてきた。
- 三重県で実施した「みえの親スマイルワーク」や「早寝早起き朝ごはんフォーラムinみえ」の参加者からは「こういった場を設定してもらい、大変ありがたかった」という声があがった。子育て家庭が学ぶことができるひとつの場として「みっふる広場」で県から情報発信できた意義は大きい。



## <課題と今後の展望>

令和2年度は、「家庭教育応援Web講座」において、12人の講師に依頼することができたが、講師の活動地域に偏りがあった。特に北勢地域に偏りがあり、伊賀、紀北、紀南の各地域で活動する講師に依頼することができなかった。今後は各地域の講師（人材）を掘り起こし、さらに「みっふる広場」の充実を図る必要がある。